

令和5年2月24日

常総市長 神達 岳志 殿

常総市総合計画審議会
会長 岡野 一男

じょうそう未来創生プラン（常総市総合計画）後期基本計画（案）について
答申

令和4年7月19日付、令和4年諮問第1号で諮問された、じょうそう未来創生プラン（常総市総合計画）後期基本計画（案）については、慎重審議の結果、下記のとおり答申いたします。

記

1. 「道の駅常総」の開業に伴い、アグリサイエンスバレー全体はもとより、市内全体の農商工が連携し産業を活性化させ、市全域に波及させていくこと。
2. 少子高齢化の中、地域コミュニティの希薄化が進んでいますが、本市においては大災害を経験し、地域の絆の重要性を再認識したことにより、つながりを大切にし、強い絆で支え合う地域づくりに努めること。
3. 本市の地域資源である豊かな自然と交通の利便性を生かし、交流人口の増加や関係人口の拡大に寄与するアウトドアシティを推進していくこと。
4. デジタル田園都市国家構想の実現に向け、本市でもデジタル田園都市構想総合戦略を策定し、AIまちづくりを含めデジタルの力による地方創生の取り組みを加速化・深化させていくこと。
5. 地球温暖化による気候変動に伴い、豪雨や猛暑のリスクがさらに高まることが予想される中、市民・事業者・行政が連携し、カーボンニュートラルの実現に向けた取り組みに努めること。
6. 都市計画マスタープランと整合性をとり、企業誘致による新たな雇用の創出・税収の増加を生み出すとともに、定住人口を増加させ、本市経済の持続的な発展に努めること。
7. 後期基本計画を推進するにあたっては、設定した「主要成果指標」の達成を目指し、庁内横断的な取り組み及び市民・NPOなど多様な主体との官民連携を強化し、施策や事業の充実に努めること。